

6.2. 口頭発表

本節には、気象研究所に所属していた研究者が筆頭者として行った講演、口頭発表などを個人別に掲載している。また、筆頭者以外の発表については、筆頭者以外の発表件数を集計している。

各発表の情報は、発表題目、会義名称の順に並べている。

- | | |
|------|--|
| 青木 元 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 東海沖での海底地震計観測—2002 年観測結果—、地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会 ・ Seismicity off Tokai district observed by pop-up type ocean bottom seismographs, IUGG 2003 ・ 海底地震計観測による東海沖の地震活動—気象庁一元化震源の再決定と 2003 年観測結果—、日本地震学会 2003 年秋季大会 ・ Decay and diffusion of enhanced seismicity after inland large shallow earthquake, IUGG 2003 <p>(筆頭者以外の発表件数 : 1 件)</p> |
| 青木忠生 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Status of TERSE development, Seminar of the Harvard-Smithsonian Center for Astrophysics <p>(筆頭者以外の発表件数 : 15 件)</p> |
| 青木輝夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 南極ドーム F 氷床コアから見積もった過去 32 万年間のダストによる放射強制力、日本雪氷学会 2003 年度全国大会 ・ ドーム F コアから見積もった過去 32 万年間のダストによる短波長放射強制力の直接効果、第 26 回極域気水圏シンポジウム ・ Radiative transfer model to estimate the dust radiative forcing from GCM-simulated dust information, 3rd ADEC Workshop, Jeju, Korea, January ・ 積分球を用いたアルベドプローブ (ISAP) の試作、日本気象学会 2003 年度春季大会 ・ ADEOI-II/GLI 雪氷プロダクトによるサイエンス、日本リモートセンシング学会第 35 回学術講演会 ・ Science by ADEOS-II/GLI Cryosphere products and their validation, ADEOS-II Workshop 2004 ・ 南極氷床コアデータから求めた過去 32 万年のダストによる南極域における放射強制力の変化、第 15 回風送ダスト研究会—天地塵— ・ 風送ダスト放射強制力の直接効果計算用放射伝達モデルについて、第 15 回風送ダスト研究会—天地塵— ・ 「積雪物理量がアルベドに与える影響について」—地上観測、リモセン、積雪陸面モデルの観点から—、北海道大学低温科学研究所セミナー <p>(筆頭者以外の発表件数 : 16 件)</p> |
| 青梨和正 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 若狭湾特別観測 (WAKASA2003) の固体降水の構造と雲物理量の特徴 (その 1)、日本気象学会 2003 年度春季大会 ・ 若狭湾特別観測 (WAKASA2003) の固体降水の構造と雲物理量の特徴 (その 2)、日本気象学会 2003 年度秋季大会 ・ Structural and Cloud-physical Characteristics of Solid Precipitation Observed by Wakasa Bay Field Campaign 2003 (WAKASA2003), 8th Specialist Meeting on Microwave Radiometry and Remote Sensing Applications <p>(筆頭者以外の発表件数 : 4 件)</p> |
| 青山道夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋環境における人工放射性核種の長期挙動の研究—この 40 年間でどう海洋中を移動したか?、海洋環境における放射能研究の現状と未来 ・ 海洋環境における放射性核種の長期挙動に関する研究と全球人工放射能データベースの構築、第 45 回 環境放射能調査研究成果発表会 |

6. 成果発表

- ・地表表面に核実験起源の ^{137}Cs はどれだけ降ったか？—北半球総降下量の再評価、第5回「環境放射能」研究会
- ・栄養塩測定標準溶液の実サイズ検証実験、2003年度 日本海洋学会春季大会
- ・栄養塩測定標準物質とそれを使った世界一周航海一時空間変動を確実に見出すための努力—、海洋理工学会平成15年度春季大会
- ・海水中栄養塩測定用の標準物質の研究と国際比較実験、第64回分析化学討論会
- ・栄養塩測定における標準溶液と国際比較実験、2003年度日本海洋学会秋季大会
- ・海水中栄養塩測定用標準物質の研究と国際比較実験 その2、日本分析化学会第52年会
- ・栄養塩標準物質を使ったBEAGLE南太平洋レグにおける栄養塩の分析—速報、第20回しんかいシンポジウム・第7回みらいシンポジウム
- ・Standard seawater comparison up to the latest batch P143 for more accurate salinity history in the world ocean, 2004 Ocean Sciences Meeting
- ・More Accurate Nutrients Measurements Along Reoccupied P06 Section Using Reference Material of Nutrients in Seawater, 2004 Ocean Sciences Meeting
- ・「海洋における長期変動の研究とその研究に必要な計測標準および分析用標準の開発管理」、栄養塩標準物質と栄養塩時空間変動の研究、2004年度日本海洋学会春季大会 シンポジウム E
- ・東シナ海 PN 線における栄養塩、植物色素量、プランクトンの長期変動 1973-2002、2004年度日本海洋学会春季大会
- ・分析でも放射能測定でもできないこと—環境放射能研究者は何を放置してきたか？—、日本放射線影響学会
(筆頭者以外の発表件数：19件)

足立恭将 ・「陸域拡大」に対する気候モデルのインパクト実験、日本気象学会 2003年度秋季大会

足立アホロ ・Wind profiler and tower observations of a gravity current and a related solitary wave, 10th International Workshop on technical and scientific aspects of MST Radar

五十嵐康人 ・Contribution of aeolian dust for the resuspension of the anthropogenic radioactivity, the international symposium : Transfer of radionuclides in biosphere -prediction and assessment-JAERI-Conf 2003-010

・Deposition of ^{90}Sr and ^{137}Cs at a few Stations over Japan-Impliations for the long-range transport of continental dust, 8th International conference on Atomospheric Sciences and Applications to Air Quality

・ ^{90}Sr と ^{137}Cs の風送ダスト研究への応用、地球惑星科学関連学会 2003年合同大会

・Tracer use of anthropogenic radioactivity for the transport of dust- ^{90}Sr and ^{137}Cs in Sahara dust and Asian, The Second International Workshop on Sandstorms and Associated Dustfall

・富士山頂における SO_2 濃度、第14回大気化学シンポジウム

・冬季における富士山頂の SO_2 観測と他の微量気体との予備的比較：通年観測のデータより、平成15年度特定領域「微粒子の環境影響」AIE シンポジウム

・ ^7Be と ^{222}Rn を大気トレーサーとして利用した富士山頂での大気化学観測、第5回環境放射能研究会

・表土ダスト輸送研究に係わる低レベル放射能測定、金沢大学 21世紀 COE プログラム 第1回シンポジウム

・風送塵輸送研究のトレーサーへの ^{90}Sr と ^{137}Cs の応用、中華医学会放射医学及び防護学分会第4次全国中青年学術交流会

・大気中の物質循環研究とフォールアウト、日本放射線影響学会 第46回大会

・大気モニタリング、第74回 日本衛生学会総会
(筆頭者以外の発表件数：21件)

石井雅男 ・Objective analyses of SST and marine meteorological variables for the 20th century using COADS and the Kobe Collection., Second JCOMM Workshop on Advances in Marine

Meteorology

- ・本州南方の亜熱帯域における全炭酸濃度の季節変化、2003 年度日本海洋学会秋季大会
- ・Flux of carbon in the seasonal sea ice zone of the Southern Ocean south of Australia, XXVI Symposium of Polar Biology
- ・Variability of Surface Layer CO₂ Parameters in the Western and Central Equatorial Pacific, Workshop on Global Carbon Cycle and Related Mapping Based on Satellite Imagery and Climatic Change
- ・Measurements of the Oceanic pCO₂/fCO₂ in the Pacific, Arctic and Southern Oceans by the Organizations in Japan, Workshop on Ocean Surface pCO₂, Data Integration and Database Development
- ・Observation from the Changing CO₂ in the Ocean, Integrated Global Observing Strategy (IGOS) International Workshop
- ・海洋は今後も人類が排出した CO₂ を吸収し続けるのだろうか？—海洋 CO₂ 変動の実態把握に向けた観測からのアプローチ—、地球温暖化予測ワークショップ
(筆頭者以外の発表件数：5 件)

石井正好 ・海面水温ならびに海上気象要素の客観解析データベース：COBE、日本気象学会 2003 年度春季大会

石川一郎 ・渦許容モデルに見られる黒潮の自励的経年変動と琉球海流との関係、2003 年度日本海洋学会秋季大会
(筆頭者以外の発表件数：1 件)

石川有三 ・新しい沈み込み帯の提案、地震学会 2003 年秋期大会
(筆頭者以外の発表件数：3 件)

石崎士郎 ・偏西風の南北移動に伴う北西太平洋表層水温変動、2003 年度日本海洋学会秋季大会
(筆頭者以外の発表件数：9 件)

石崎 廣 ・渦許容モデル結果による西部北太平洋における eddy-induced transport の見積もり、九州大学応用力学研究所共同研究「海洋大循環の力学、とくに中層循環におよぼす海洋海底地形の影響に関する研究」年次研究集会

石部 勝 ・千葉・茨城県で突風災害をもたらしたストームの 3 次元構造の推移、第 1 回天気予報研究会

石元裕史 ・霧画像を用いた消散係数と有効半径の推定、日本気象学会 2003 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数：4 件)

井上豊志郎 ・下層雲と気象要素の解析 (I)、日本気象学会 2003 年度秋季大会
・Life stage of deep convection defined by the split window of GOES, AMS Meeting at Seattle
・Deep Convection Observed from Split Window of GOES and PR/TRMM, LIS/TRMM IGARSS at Toulouse
・Comparison between TMI/TRMM and PR/TRMM near surface rainfall estimation in terms of cloud information, IUGG2003
・全球客観解析と静止衛星から推定される水蒸気場の比較—2002 年 6 月 27 日の事例一、日本気象学会 2003 年度春季大会
(筆頭者以外の発表件数：1 件)

上口賢治 ・気象研究所 AGCM の日降水特性の検証、日本気象学会 2003 年度秋季大会

上野 充 ・Steering Weight Concept の台風 0014 号への適用、日本気象学会 2003 年度春季大会講演
・Application of steering weight concept to Typhoon Saomai in 2000, IUGG2003
・モデル計算で得られた台風移動と指向流の関係、日本気象学会 2003 年度秋季大会講演
(筆頭者以外の発表件数：4 件)

6. 成果発表

- 碓氷典久 ・ データ同化の基礎、2003 年データ同化夏の学校
(筆頭者以外の発表件数：4 件)
- 内山明博 ・ Characteristics of Aeolian dust observed by sky-radiometer, IUGG2003
・ Characteristics of Aeolian dust observed by ADEC sky-radiometer network, 2nd International Workshop on Mineral Dust
・ Continuous measurement of Aerosol parameter by ADEC sky-radiometer network, 3rd Workshop on Aeolian Dust Experiment on Climate Impact
・ APEX-E1、E2 の航空機で観測したエアロゾルの湿度特性、日本気象学会 2003 年度春季大会
・ APEX-E3 B200 MRI data, The APEX-RIHN Joint International Workshop for Aersols and Clouds (6th APEX International Workshop)
(筆頭者以外の発表件数：5 件)
- 内山貴雄 ・ 地球温暖化時の梅雨の変化について、日本気象学会 2004 年度秋季大会講演
・ Changes in Baiu-Changma-Meiyu rain by global warming in MRI-CGCM. International Conference on High-Impact Weather and Climate : Understanding, Prediction and Socio-Economic Consequences (ICHWC2004)
・ 新しいエーロゾル分布を用いた温暖化予測実験、日本気象学会 2003 年度春季大会
(筆頭者以外の発表件数：3 件)
- 永戸久喜 ・ 日本海寒帯気団収束帯上に発生する帯状雲の高解像度・広領域数値シミュレーション、日本気象学会 2003 年度春季大会
・ 寒冷渦の影響を受けて発達した帯状雲の構造について、日本気象学会 2003 年度秋季大会
・ Preliminary comparison of AMSR-E observation and numerical simulation with cloud resolving model for solid precipitation in winter during the WAKASA 2003, 8th Specialist Meeting on Microwave Radiometry and Remote Sensing Applications
・ 地球シミュレータ向け非静力学モデルでシミュレートされた日本海寒帯気団収束帯上に発生する帯状雲、第 21 回メソ気象研究会
・ A high-resolution wide-range numerical simulation of cloud bands associated with The Japan Sea Polar-air mass Convergence Zone (JPCZ) in winter using a NON-HYDROSTATIC MODEL on the Earth Simulator, IUGG2003
・ WMO-03 期間中に観測された、寒冷渦の影響を受けて発達した帯状雲の高解像度数値シミュレーション、2003 年夏の研究集会「メソ対流系」
・ WMO-01 期間中に観測された日本海寒帯気団収束帯上の帯状雲の高解像度シミュレーション、第 5 回領域シンポジウム地球変動のメカニズム
(筆頭者以外の発表件数：10 件)
- 大泉三津夫 ・ 新陸面モデル (MRI/JMA-SiB) のインパクト実験、日本気象学会 2003 年度春季大会
・ MRI/JMA-SiB での濡れ雪アルベドのインパクト、日本気象学会 2003 年度秋季大会
- 岡田菊夫 ・ タクラマカン砂漠の大気で採集されたエアロゾル粒子について、日本気象学会日本気象学会春季大会
・ DMA で分級された大気エアロゾル粒子の電子顕微鏡観察、日本エアロゾル学会 第 20 回エアロゾル科学・技術研究討論会
(筆頭者以外の発表件数：8 件)
- 小畑 淳 ・ 気候—炭素循環結合モデルの開発、日本気象学会 2003 年度春季大会
・ 炭素循環を含む全球大気海洋結合大循環モデルによる温暖化予測、2004 年度日本海洋学会春季大会
・ 炭素循環気候モデルによる温暖化予測、地球フロンティア研究システム地球温暖化予測研究ワークショップ
- 折笠成宏 ・ 山岳性降雪雲の微物理構造に関する統計的特徴—HYVIS 観測による鉛直分布—、日本気象学

会 2003 年度春季大会

- ・ X-BAIU02 期間の航空機で得られた Anvil の微物理観測、日本気象学会 2003 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数 : 12 件)

加藤輝之

- ・ 非静力学モデルでの熱雷予想の課題について—2002.8.2 のケースを例として、日本気象学会 2003 年度春季大会
- ・ 高分解能非静力学モデルによる領域気候予測 その 1 : 高分解能での長期積分への取り組み、日本気象学会 2003 年度秋季大会
- ・ 2003 年 7 月 20 日熊本県水俣市で発生した集中豪雨の発生メカニズム その 1 : 甕島ラインとの関係、日本気象学会 2003 年度秋季大会
- ・ 1999 年 6 月 29 日福岡で豪雨をもたらした寒冷前線と下層ジェット強化機構 その 3 : 前線内の降水セルの発達高度を決定する要因、日本気象学会 2003 年度秋季大会
- ・ Reason for the failure of the simulation of heavy rainfall during X-BAIU-01 —Importance of a vertical profile of water vapor for numerical simulations—, Fifth International SRNWP-Workshop on Nonhydrostatic Modelling
- ・ Structure of a cold front inducing a heavy rainfall during X-BAIU-99, IUGG2003
- ・ 1999 年 6 月 29 日福岡で豪雨をもたらした寒冷前線内の降水セルの発達高度を決定する要因、2003 年夏の研究集会「メソ対流系」
- ・ 戦略的基礎研究「メソ対流系」の報告 3. 数値実験と解析、第 22 回メソ気象研究会
(筆頭者以外の発表件数 : 21 件)

蒲地政文

- ・ Three-dimensional analyses of salinity and temperature in the Pacific using a variational method with vertical coupled temperature-salinity EOF modes —Salinity impacts in the Equatorial and North Pacific Assimilation—, First Argo Science workshop, Tokyo, Japan
- ・ Japan National Report and Initiative, International GODAE Steering Team (IGST) 8th Session
- ・ North Pacific intercomparison, International GODAE Steering Team (IGST) 8th Session
- ・ Data assimilation and Ocean Prediction —Introduction to GODAE—, IGOS/Ocean Theme Splinter Meeting
- ・ Examples of metrics in the North Pacific intercomparison, 3rd MERSEA Strand1 and GODAE meeting
(筆頭者以外の発表件数 : 5 件)

釜堀弘隆

- ・ JRA-25 長期再解析プロジェクト—インド洋における熱帯低気圧の再現—、日本気象学会 2003 年度春季大会
- ・ JRA-25 長期再解析プロジェクト—熱帯低気圧が大規模場に与える影響—、日本気象学会 2003 年度秋季大会
- ・ The Japanes 25-year Reanalysis Project, IUGG2003
(筆頭者以外の発表件数 : 1 件)

川畑拓矢

- ・ JNoVA : 4DVAR 開発報告 (第 2 報) —NHM-4DVAR を用いた観測データ同化実験、日本気象学会 2003 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数 : 6 件)

北畠尚子

- ・ 温帯低気圧化する台風とその周辺の総観規模前線の特徴、日本気象学会 2003 年度春季大会
- ・ 関東地方における台風 0221 号とメソ前線の変化、日本気象学会 2003 年度春季大会
- ・ 台風 0219 号の構造—本当に台風だったのか—、日本気象学会 2003 年度秋季大会
- ・ 温帯低気圧化末期の台風 0221 号の構造、日本気象学会、2003 年秋季大会
- ・ Extratropical transition of tropical cyclones in the western North Pacific : Their frontal evolution, IUGG2003
- ・ Extratropical transition of tropical cyclones in the western North Pacific : Their frontal evolution, 2nd International Workshop on Extratropical Transition

6. 成果発表

鬼頭昭雄

- ・ 気象研全球気候モデル温暖化実験の日降水量解析、乾燥地域の農業生産システムに及ぼす地球温暖化の影響 (ICCAP) 全体研究会
- ・ MRI GCM projection of global and Asian water circulation in the 21st century, Seminar, Dept. of Geological Eng., Hacettepe University, Ankara, Turkey
- ・ GCM simulation of changes of tropical precipitation characteristics by global warming, 2003 International Symposium on the Climate System of Asian Monsoon and its Interaction with Society
- ・ Changes of precipitation characteristics by global warming simulated by the MRI CGCM, 15th Symposium on Global Change and Climate Variations
- ・ Changes of monsoon and its precipitation characteristics by global warming, International Asian Monsoon Symposium
- ・ On the FY2001-2003 MEXT project "Water Resource and Its Variability in Asia in the 21st Century", Symposium on Water Resource and Its Variability in Asia in the 21st Century
- ・ Water resource and its variability in Asia in the 21st century, International Conference on High-Impact Weather and Climate : Understanding, Prediction and Socio-Economic Consequences (ICHWC2004)
- ・ 山岳上昇の ENSO に対する影響、日本気象学会 2003 年度春季大会
- ・ ENSO modulation by mountain uplift, JSP02, IUGG2003
- ・ Coupled GCM study on the effect of mountain uplift on Asian monsoons, MC03, IUGG2003
- ・ ENSO : modulation by orbital change and mountain uplift, International Conference on Earth System Modelling
- ・ Mountain uplift and ENSO-monsoon system, IGCP-476 Symposium "Monsoon Evolution and Tectonics-Climate Linkage in Asia"
- ・ 地球温暖化と都市化による気温変化について、日本気象学会 2003 年度春季大会シンポジウム「ヒートアイランドー熱帯夜の熱収支ー」
- ・ Climate modeling at MRI, CAMP-FRSGC Collaboration Workshop
- ・ 大規模山岳の上昇に伴う ENSO・モンスーンの変化ー気象研究所大気海洋結合気候モデルによる数値実験、名古屋大学地球水循環研究センター特別セミナー
- ・ 気候モデルによる過去・現在・将来のモンスーンシミュレーション、筑波大学陸域環境研究センター年次報告会
(筆頭者以外の発表件数 : 29 件)

木下宣幸

- ・ 3 cm スパン超音波風速計の風洞試験への適応性、日本気象学会 2003 年度秋季大会
- ・ 応答速度の速い水蒸気センサを用いずに水蒸気乱流輸送量を渦相関で測定する方法について、日本気象学会 2003 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数 : 1 件)

楠 研一

- ・ 三国山脈周辺の山岳性降雪雲の気流とエコー分布の観測ー事例解析 IIー、日本気象学会 2003 年度春季大会
- ・ 三国山脈周辺の降雪粒子の雲物理特性の観測ー事例解析ー、日本気象学会 2003 年度秋季大会
- ・ Ka-band radar observations of orographic snow clouds and flows across a steep mountain ridge, 31th Conference. on Radar Meteorology
(筆頭者以外の発表件数 : 3 件)

楠 昌司

- ・ 大気大循環モデルによる気候再現実験、日本気象学会 2003 年度春季大会
- ・ 51-year simulation of the period from 1951 to 2001 by the JMA AGCM, NOAA 28th Annual Climate Diagnostics and Prediction Workshop
- ・ 大気大循環モデル MJ98 による気候再現実験に現れた夏のモンスーン、「長期予報と大気大循環」月例会
- ・ 51-year simulation of the period from 1951 to 2001 by the JMA AGCM, 4th International

- Workshop on Global Change : Connection to the Arctic 2003 (GCCA4)
- 51-year simulation of the East Asian Monsoon by the AGCM “MJ98”, Joint Meeting for Seasonal Prediction of the East Asian Winter Monsoon
 - 51-year (1951–2001) simulation of the East Asian monsoon by AGCM “MJ98”, International Asian Monsoon Symposium
 - 51-year simulation of the East Asian monsoon by the AGCM “MJ98”, Symposium on the Water Resource and Its Variability in Asia in the 21st Century
 - 51-year simulation of the East Asian monsoon by the AGCM “MJ98”, The International Conference on High-Impact Weather and Climate (ICHWC2004)
 - 大気大循環モデル MJ98 による気候再現実験に現れた夏のモンスーン、「長期予報と大気大循環」月例会
(筆頭者以外の発表件数 : 1 件)
- 栗田 進
- Effect of stability within sparse canopys on aerodynamic resistance in roughness sublayer obtained by wind tunnel experiment, IUGG2003
(筆頭者以外の発表件数 : 1 件)
- 栗原和夫
- 2002 年のエルニーニョ現象の発生次期について、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - Mechanisms of El Nino events and their impacts on the Indian summer monsoon, IUGG 2003
(筆頭者以外の発表件数 : 10 件)
- 黒木英州
- すべり速度/状態依存摩擦法則による東海地域のスロースリップの 3 次元シミュレーション、地球惑星科学関連学会合同大会
 - A three-dimensional simulation of crustal deformation accompanied by subduction of the Philippine Sea plate in the Tokai region, central Japan, IUGG2003
(筆頭者以外の発表件数 : 1 件)
- 黒田友二
- Wave forcings and their effect on surface pressure in the Polar-night Jet Oscillation (PJO)/Arctic Oscillation (AO), and the reality of its representation in the MRI/JMA98 GCM, 9th GRIPS workshop
 - Revisiting the Winter-Summer Transition, 9th GRIPS workshop
 - 極夜ジェット振動による北極振動の形成、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - Role of Polar-nigh Jet Oscillation on the formation of the Arctic Oscillation in the northern hemisphere winter, AGU 2003 Fall Meeting
 - Role of Polar-nigh Jet Oscillation on the formation of the Arctic Oscillation in the northern hemisphere winter, IUGG 2003
 - 極夜ジェット振動形成における子午面循環の役割、日本気象学会 2003 年度秋季大会
- 高野洋雄
- The development of a storm surge model including effect of wave set-up for operational forecasting, IUGG2003
(筆頭者以外の発表件数 : 1 件)
- 小寺邦彦
- Stratospheric- and tropospheric modes in the Arctic Oscillation : implication in the dependence on the ENSO cycles, EGS-AGU Joint meeting
 - Dynamical response to the solar cycle, IUGG2003
 - Polar-Mediterranean Teleconnection Pattern and the Stratosphere, 9th GRIPS workshop
 - GRIPS Solar Impact Comparison (Task 3b) : Prospects for Future Study, 9th GRIPS workshop
 - 成層圏力学過程を通じた太陽活動の対流圏への影響、京都大学防災研究所特定研究集会「対流圏長周期変動と異常気象」
 - Solar cycle influence on the troposphere through a stratospheric dynamical process, SOLICE workshop

6. 成果発表

- ・ Impact of the SH Major warming on the Hadley circulation, EGS-AGU Joint Assembly
(筆頭者以外の発表件数 : 8 件)
- 小林昭夫
 - ・ 1946 年南海地震前後の宇和島潮位、地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会
 - ・ GPS 東海地域 3 時間値の面的監視、日本測地学会第 100 回講演会
 - ・ Crustal deformation in the Kanto-Chubu district at and after the 2000 seismo-volcanic event in the northern Izu Islands, IUGG2003
 - ・ 潮位データから見た 2003 年十勝沖地震前の地殻変動、日本測地学会第 100 回講演会
(筆頭者以外の発表件数 : 2 件)
- 小林隆久
 - ・ Evaluation of TRMM PR estimate using profiler measurements of raindrop size distribution, 31st Conference on Radar Meteorology
 - ・ TRMM 降雨レーダーの降水観測における雨滴粒径分布の影響、日本気象学会 2003 年度秋季大会
- 財前祐二
 - ・ 数値シミュレーションによる海洋エアロゾル粒径分布の再現、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・ Aerosol size distributions observed around the tropopause over the northwestern Pacific Ocean, AGU Fall Meeting 2003
 - ・ 数値シミュレーションによる海洋エアロゾル粒径分布の再現、日本気象学会 2003 年度春季大会
- 斉藤 秀
 - ・ 西部太平洋赤道域の pHT 分布と Barrier Layer の関係について、2003 年度日本海洋学会秋季大会
 - ・ 西部熱帯太平洋暖水塊での高 pHT と Barrier layer の関係について、第 7 回「みらい」シンポジウム
(筆頭者以外の発表件数 : 2 件)
- 坂井武久
 - ・ Possible influence of Asian dust particles on the distribution of ice clouds in the middle free troposphere over Tsukuba, Japan, the 2nd International Workshop on Sandstorms and associated Dustfall
- 坂井孝行
 - ・ Infrasonic events accompanying six types of seismic events at Sakurajima Volcano, the XXIII General Assembly of the International Union of Geodesy and Geophysics, IUGG 2003
 - ・ 火山地形が火山性地殻変動に及ぼす影響、日本火山学会 2003 年秋季大会
(筆頭者以外の発表件数 : 7 件)
- 笹岡雅宏
 - ・ A grouping algorithm for estimating wind speed in Doppler spectra, 31st Conference on Radar Meteorology
 - ・ エントレインメント速度と水蒸気鉛直フラックスの推定、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・ 対流境界層における水蒸気プロファイルの推定、日本気象学会 2003 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数 : 3 件)
- 佐々木秀孝
 - ・ Sensivity Experiments of the MRI-RCM to SST Resolutions, The 3rd workshop of regional climate model studies, APN
(筆頭者以外の発表件数 : 21 件)
- 佐藤康雄
 - ・ Regional climate change projection over Japan in winter due to global warming using an MRI-CGCM1/regional climate model nesting system, IUGG 2003
 - ・ 地球温暖化時の日本近海における海面水温・水位の予測について—高解像度太平洋域海洋モデルの結果—、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - ・ Regional climate projection over Japan due to global warming using an MRI-CGCM2.2/regional climate model system with projected SST by a high-resolution OGCM. Sympo-

sium on Water Resource and Its Variability in Asia in the 21st Century

- Simulations of East Asia summer monsoon climate in 1997 and 1998 using two regional climate models : MRI-JSM-BAIM and CRIEPI RegCM3, Conference on Regional Climate Modeling
- Regional climate projection over Japan due to global warming using an MRI-CGCM2.2/ regional climate model system with projected SST by a high-resolution OGCM, the International Conference on High-Impact Weather and Climate
- 温暖化によって日本の気候はどのように変わるか、2003 年気候講演会
(筆頭者以外の発表件数 : 19 件)

澤 庸介

- Long-range transport of enhanced carbon monoxide in winter season at the summit of Mt. Fuji, Goldschmidt 2003
(筆頭者以外の発表件数 : 8 件)

柴田清孝

- Recent Topics of the MRI Middle Atmosphere Model, 9th GRIPS workshop
- 太陽活動 11 年周期変動に対する中層大気の輻射及び力学応答シミュレーション、第 3 回国際高層大気・地磁気委員会/国際中層大気委員会ワークショップ“太陽活動の中層大気への影響”
- Effect of the horizontal resolution of general circulation model on the ozone distribution simulated by chemical transport model, AGU Fall Meeting 2003
- Loose coupling between GCM and CTM, 9th GRIPS workshop
- Simulations of the Effect of Solar Variability on the Troposphere and Middle Atmosphere, IUGG2003
(筆頭者以外の発表件数 : 14 件)

小司禎教

- 富士山頂で観測された GPS ダウンルッキングデータの 4 次元変分法による気象庁メソスケールモデルへの同化実験 (序報)、日本気象学会 2003 年秋季大会
- 高精度水蒸気センサーとしての GPS—その気象への利用—、研究集会「精密衛星測位 : 衛星重力観測による地球のダイナミクス研究へのブレーク・スルー」
(筆頭者以外の発表件数 : 3 件)

清野直子

- タリム盆地付近のダストストームと局地循環 (第 2 報)、日本気象学会 2003 年度秋季大会
- Numerical Simulation of Mesoscale Circulations Associated with the Dust Storm in the Tarim Basin, 3rd ADEC Workshop
- Numerical Simulation of Mesoscale Circulations Associated with the Dust Storm in the Tarim Basin, IUGG2003
- 三宅島における地上 SO₂ 濃度の数値シミュレーション、地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会
- 三宅島における地上 SO₂ 濃度の数値シミュレーション、日本風工学会・広域風環境研究会
(筆頭者以外の発表件数 : 5 件)

関山 剛

- 中層大気における微量化学成分の太陽周期変動シミュレーション、第 14 回大気化学シンポジウム
- Medium-Range Predictability of Ozone Fields in the Stratosphere Using a Global Three-Dimensional Chemical Transport Model with Assimilation of Meteorological Datasets and Satellite Measurements, IUGG2003
- The solar cycle variation of chemical species in the middle atmosphere studied with a 3-D chemistry-climate model, 「化学と気候の結合モデルのプロセス志向検証」研究集会
- The Solar Cycle Variation of Ozone and Other Chemical Species in the Stratosphere Simulated With a 3-D Chemistry-Climate Model, AGU Fall Meeting 2003
(筆頭者以外の発表件数 : 8 件)

瀬古 弘

- ドップラーレーダの動径風と GPS 水蒸気データを用いた同化実験、日本気象学会 2003 年度春季大会

6. 成果発表

- ・ JNoVA0 (NHM-3Dvar システム) を用いたドップラーレーダの動径風の同化実験 (序報)、日本気象学会 2003 年秋季大会
- ・ Impacts of Radial Wind measured by Doppler radar and GPS-derived Water Vapor on Numerical Prediction of Precipitation, WMO
(筆頭者以外の発表件数 : 1 件)
- 高木朗充
 - ・ 歪み場から見た伊豆大島の地殻変動 1998-2003 年、日本火山学会 2003 年秋季大会
 - ・ 気象庁強震データから求められた S 波の距離減衰と観測点増幅率、地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会
 - ・ パプアニューギニア パゴ火山における地震及び熱赤外観測、地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会
 - ・ Crustal deformation of Izu-Oshima Volcano, Japan by the repeated GPS observation, IUGG2003
(筆頭者以外の発表件数 : 10 件)
- 高橋清利
 - ・ 中国地上気象記録資料による現在気候シミュレーションの検証、日本気象学会 2003 年秋季大会
 - ・ Validation of GCM/RCM simulations under the current climate condition, Symposium on Water Resource and Its Variability in Asia in the 21st century
(筆頭者以外の発表件数 : 2 件)
- 高橋 宙
 - ・ 富士山頂における LPC 観測とモデルによる再現～その 1 2003 年春季黄砂～、第 14 回大気化学シンポジウム
 - ・ 富士山頂における LPC 観測とモデルによる再現～その 2 2003 年春季ロシア森林火災～、第 14 回大気化学シンポジウム
(筆頭者以外の発表件数 : 6 件)
- 高藪 出
 - ・ 領域気候モデルによる現在気候の再現性について、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - ・ Simulation of Asian climate by using regional climate models nested in global circulation models, Symposium on Water Resource and Its Variability in Asia in the 21st Century
 - ・ 領域気候モデルによる現在気候の再現性について、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - ・ Eady 解への過剰反射の適用について、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・ Eady の傾圧不安定問題への過剰反射の適用、地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会
 - ・ 領域気候モデルによる現在気候の再現性について、日本気象学会 2003 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数 : 3 件)
- 高山博之
 - ・ Probabilities for the occurrence of a larger earthquake in clustered activities in the Japanese islands, Workshop on Seismic Activity and Probabilities of Major Earthquakes in the Kanto and Tokai area, central Japan
 - ・ 地震活動推移評価に向けてのデータ同化、2003 年地球惑星科学合同大会
 - ・ 地殻内地震の深さ分布、2003 年地球惑星科学合同大会
(筆頭者以外の発表件数 : 4 件)
- 高山陽三
 - ・ マイクロレインレーダーによる降雨の観測、日本気象学会 2003 年度春季大会講演
(筆頭者以外の発表件数 : 1 件)
- 武田重夫
 - ・ Hill の球形渦類似の流れパターンによるシンプルな対流モデルの検討 (その 2 ; 予備的テストとしての「水蒸気」の移流について)、日本気象学会 2003 年度春季大会
- 田中 実
 - ・ 2003 年の日本の冷夏と過去 12 年間の冷夏と ENSO・アジアモンスーンの関係、日本気象学会 2004 年春季大会
- 田宮久一郎
 - ・ 変分法データ同化におけるペナルティ項の形と収束の速さ、日本気象学会 2003 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数 : 4 件)

- 千葉 長
- ・ Development of numerical dispersion model for radioactive nuclei including resuspension processes the international symposium : Transfer of radionuclides in biosphere-prediction and assessment-JAERI-Conf 2003-010
 - ・ Long-term Simulation of Global aeolian-dust model (Masingar) and evaluation of radiative forcing by Aeolian-dust, 3rd ADEC Workshop
(筆頭者以外の発表件数 : 16 件)
- 忠鉢 繁
- ・ 稚内におけるオゾン特別観測 (第 3 報 ; 極渦内大気の検知)、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・ 2001 年 2 月 14 日にヨーロッパ上空に出現したミニオゾンホールについて、国立極地研究所極域テレサイエンス技術の現状と展望に関する研究小集会
- 辻野博之
- ・ 気象研北西太平洋領域モデルの紹介、「西太平洋縁辺海モデルの改良」第 2 回研究集会
 - ・ 高解像度モデルにおけるモード水の経年変動、2003 年度日本海洋学会秋季大会
 - ・ Long-term variability in the Kuroshio-Oyashio extension region in a high resolution GCM, 2004 AGU Ocean Science Meeting
(筆頭者以外の発表件数 : 9 件)
- 出牛 真
- ・ 気象研究所化学輸送モデルの改良及び感度実験、日本気象学会 2003 年春季大会
 - ・ 気象研究所化学輸送モデルの改良及び感度実験 (第 2 報)、日本気象学会 2003 年秋季大会
 - ・ 気象研究所化学輸送モデル (MJ98-CTM) の気候値—2 つの異なる水平分解能における比較—、第 14 回大気化学シンポジウム
(筆頭者以外の発表件数 : 8 件)
- 戸川裕樹
- ・ Ground-based Measurements of Optical Properties of Atmospheric Aerosol in Tsukuba and Miyako-Island, 3rd ADEC Workshop
(筆頭者以外の発表件数 : 6 件)
- 時枝隆之
- ・ 北太平洋中央モード水中のクロロフルオロカーボン、2003 年度日本海洋学会秋季大会
 - ・ 165°E 線で観測される 2 種類の北太平洋中央モード水とその化学的特性、2004 年度日本海洋学会春季大会
(筆頭者以外の発表件数 : 1 件)
- 直江寛明
- ・ バックグランド海洋大気中における海塩粒子の変質、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・ Modification of sea-salt particles in the remote marine atmosphere in the western Pacific Ocean, IUGG2003
 - ・ 都市大気中における煤粒子の混合状態、日本エアロゾル学会、第 20 回エアロゾル科学・技術研究討論会
- 永井智広
- ・ 946 nm 波長帯 LD 励起 Nd : YAG レーザーを用いたオゾン・水蒸気・エアロゾル同時観測用 DIAL の開発、日本気象学会 2003 年秋季大会
 - ・ 那覇及びつくばにおける風送ダスト (黄砂) のライダー観測、第 22 回レーザセンシングシンポジウム
 - ・ Lidar Observations of Aeolian Dust Vertical Profiles over Tsukuba and Naha, Japan, 3rd ADEC Workshop
 - ・ 北極オゾン層破壊に効果的な硝酸を含む大粒子をライダーで検出か、第 22 回レーザセンシングシンポジウム
(筆頭者以外の発表件数 : 15 件)
- 中里真久
- ・ 二酸化炭素による誘導ラマン散乱の DIAL 送信系への応用、第 22 回レーザセンシングシンポジウム
(筆頭者以外の発表件数 : 13 件)
- 中澤哲夫
- ・ マイクロ波から見た台風、京都大学防災研究所「台風に関する研究会」
 - ・ Scientific achievements of TRMM and their practical applications, JAXA, GPM Asian

6. 成果発表

- Workshop
- Validation of Quik SCAT ocean surface data by a small island data IUGG2003
 - Baiu Hunter 2003 in Kgushu by Aerosonde, IUGG2003
 - Modulation of tropical cyclone by Madden-Julian Oscillation, IUGG2003
(筆頭者以外の発表件数 : 3 件)
- 中野俊也
- 長期係留による 4 種類の流速計観測結果の比較、2003 年度日本海洋学会春季大会
 - 気象庁 137°E 定線における北太平洋中層水の短期変動について、2003 年度日本海洋学会春季大会
 - WOCE one-time 観測の化学データからみた北太平洋深層水の行方、2003 年度日本海洋学会秋季大会
(筆頭者以外の発表件数 : 4 件)
- 中野英之
- 北太平洋高解像度モデルに現れた 3-5 度の南北スケールを持つ東西流、2003 年度日本海洋学会秋季大会
 - Mc Dougall et al. (2003) の密度方程式の OGCM への適用、2003 年度九州大学応用力学研究所共同利用研究「西太平洋縁辺海モデルの改良」研究集会
- 中村雅基
- 日本付近の P 波および S 波の 3 次元速度構造—その 2—、2003 年地球惑星科学合同大会
- 野田 彰
- 回転楕円対上のプリミティブ方程式系、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - The effect of aerosols on global warming estimated from multi-CGCM runs and multi-emission scenario runs, IUGG2003
 - The direct effect of aerosols on global warming, International Conference on Modelling of Global Climate Change and Variability
 - 新排出シナリオに基づく新しい気候変動シナリオの推定に関する研究、第 11 回スーパーコンピュータによる地球環境研究発表会
 - Comparison of response patterns in CMIP runs between MRI-CGCM1 and MRI-CGCM2, CMIP Workshop
(筆頭者以外の発表件数 : 15 件)
- 萩野谷成徳
- チベット高原の気候湿潤度と地表面状態、日本気象学会 2003 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数 : 7 件)
- 濱田信生
- Prominent features of earthquake catalog of Japan since 1923 to the present, IUGG2003
 - 1952 年十勝沖地震の震源域の見直しについて、日本地震学会 2003 年秋季大会
 - 茨城県周辺の地震活動の特徴と地震津波防災対策、茨城県防災講演会
 - Aftershocks and Variation of Seismicity over Eighty Years period in and around the Focal Area of the 1923 Kanto earthquake, AGU Fall Meeting 2003
- 林 修吾
- 非静力学モデルを用いた発雷予測 (その 1) —着氷電荷発生機構を用いた雲内電荷予測—、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - 非静力学モデル (JMA-NHM) を用いた発雷予測 (その 2) —電荷予測と不安定指数予測の観測との比較—、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - 2001 年 1 月 27 日に日本海を通過した小低気圧の観測的・数値的研究、JST 第五回領域シンポジウム「地球変動のメカニズム」
 - 非静力学モデル (JMA-NHM) を用いた発雷予測、2003 年夏の研究集会「メソ対流系」
 - Observational and Numerical Studies of a Polar Low Formed over the Japan Sea on 27 January 2001, IUGG2003
(筆頭者以外の発表件数 : 12 件)
- 平沢正信
- 強雨域の検出・追跡ソフトの開発とその利用 (2)、日本気象学会 2003 年度春季大会
- 平原幹俊
- 南大洋の風が海洋深層循環に与える影響 I、2003 年度日本海洋学会秋季大会

- 廣瀬勝己
- ・つくばにおける降下物中のプルトニウムについて、第4回「環境放射能」研究会
 - ・韓国 Daejeon で観測された降下物中のプルトニウムについて、日本放射線影響学会 第46回大会
 - ・大気圏の粒子状放射性核種の長期的動態に関する研究、第45回 環境放射能調査研究成果発表会
 - ・つくばにおける最近のプルトニウム降下量について：天然放射性核種（Th）との比較、第5回「環境放射能」研究会
 - ・西部北太平洋海水中のプルトニウムについて、2003年度日本海洋学会春季大会
 - ・Extremely low background measurements of ^{137}Cs in seawater samples using a underground facility, Sixth International Conference on Methods and Applications of Radio-analytical Chemistry
 - ・北太平洋表面水中の粒子状トリウムについて、2003年度 日本海洋学会秋季大会（筆頭者以外の発表件数：9件）
- 廣田道夫
- ・大気中の放射性気体の実態把握に関する研究、第45回環境放射能調査研究成果発表会
 - ・ECC オゾンゾンデで観測されたカナダ・ユーレカ基地上空における成層圏オゾンの減少について、第26回極域気水圏シンポジウム
- 深堀正志
- ・航空機搭載型高分解放射計による大気微量気体の観測、日本分光学会春季講演会
 - ・ CO_2 及び N_2O の赤外吸収帯の吸収線強度と半値半幅、第3回高分解分光研究会
 - ・ CO_2 レーザーバンドにおける吸収線パラメータ及び Herman-Wallis 因子、日本気象学会 2003年度春季大会
 - ・Measurements of the Absorption Line Parameters of N_2O and CO_2 Bands in the CH_2 Region of ILAS-II at Atmospheric Temperatures, The 6th ILAS-II Science Team Meeting
 - ・Line Strengths and Half-widths of N_2O and CO_2 Bands in the $2100\text{--}3800\text{ cm}^{-1}$ Region at Atmospheric Temperatures, The 18th Colloquium on High Resolution Molecular Spectroscopy
 - ・室温及び低温下における CO_2 ν_3 帯の吸収線強度及び半値半幅の測定、日本気象学会 2003年度秋季大会
 - ・Measurements of Line Strengths and Half-widths of the Infrared Absorption Bands of CO_2 , International Workshop on Critical Evaluation of mm-/submm-wave Spectroscopic Data for Atmospheric Observations (CESD)
 - ・Measurements of the Absorption Line Parameters of N_2O , CO_2 , and CH_4 Bands in the CH_2 Region of ILAS-II at Atmospheric Temperatures, The 7th ILAS-II Science Team Meeting
 - ・ILAS-II チャンネル2 領域に存在する CO_2 4.3 ミクロン帯の室温及び低温下における吸収線パラメータ、第14回大気化学シンポジウム
 - ・Measurements of the absorption line parameters of the infrared absorption bands of CO_2 , N_2O , CH_4 and CO , Seminar of the Harvard-Smithsonian Center for Astrophysics（筆頭者以外の発表件数：8件）
- 福井敬一
- ・火山活動の監視と予測のための映像観測、地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会
 - ・Dome growth and degassing during the 1991-1995 eruption of Unzen Volcano, Japan, IUGG2003
 - ・Usefulness of volcanic plume observation for volcano monitoring and prediction, IUGG 2003
 - ・標高補正茂木モデルの有用性とその限界、日本火山学会 2003 年秋季大会（筆頭者以外の発表件数：6件）
- 藤井陽介
- ・MRI Ocean Variational Estimation System (MOVE-System) の紹介、2003 年データ同化夏の学校
 - ・Application of Nonlinear Preconditioned Descent Method without Inversion of a First-Guess Covariance Matrix in Variational Analyses, IUGG2003

6. 成果発表

- ・ Three-dimensional Analysis of Temperature and Salinity in the Equatorial pacific using a variational method with vertical coupled Temperature —Salinity EOF Modes, Intl. Workshop on the Low— Frequency Modulation of ENSO
 - ・ Assimilation of Satellito Altimetry Data into Meteorological Research Institute Ocean Variational Estimation System (MOVE-SYSTEM), Workshop of Ocean Surface Topogra-phy Science Team (OST/ST) of Japan
(筆頭者以外の発表件数 : 2 件)
- 藤枝 鋼
- ・ Line strengths and pressure-broadening coefficients for spectral lines in the ν_3 band of $^{12}\text{CH}_4$, International Workshop on Critical Evaluation of mm-/submm-wave Spectro-scopic Data for Atmospheric Observations (CESD)
 - ・ 室温下における CH_4 の ν_3 帯吸収線強度と半値半幅の測定、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - ・ ILAS-II 新チャンネルにおける室温下の CH_4 ν_3 帯吸収線パラメータ、第 14 回大気化学シンポジウム
(筆頭者以外の発表件数 : 2 件)
- 藤部文昭
- ・ 国内における近年の著しい高温と熱帯夜の発現状況、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・ 日本における降水頻度の時刻別比率の経年変化、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - ・ ヒートアイランドが降水現象におよぼす影響、日本気象学会 2003 年度春季大会シンポジウム
 - ・ Fujibe, F., H. Seko, Y. Shoji, 2003 : Surface wind fields preceding heavy rainfall in the Tokyo Metropolitan area in the afternoon of summer, IUGG2003
 - ・ 藤部文昭、山崎信雄、勝山 税、日本における雷の頻度の時刻別長期変化、日本気象学会、2004 年度春季大会
 - ・ 藤部文昭、山崎信雄、勝山 税、小林健二、日本における短時間降水量の強度別の長期変化 (106 年間の統計)、日本気象学会 2004 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数 : 2 件)
- 藤原健治
- ・ 有限要素法による基礎的な圧力源モデルの計算 (第 2 報)、地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会
 - ・ 有限要素法による円柱圧力源モデルの計算、日本火山学会 2003 年秋季大会
 - ・ 富士山直下の低周波地震の波形解析、地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会
 - ・ 富士山周辺の地震活動 (1995-2001)、地球惑星科学関連学会合同大会
(筆頭者以外の発表件数 : 4 件)
- 別所康太郎
- ・ 衛星搭載マイクロ波探査計 (AMSU) を用いたハリケーン域内における風分布の算出とその評価、京都大学防災研究所「台風に関する研究会」
(筆頭者以外の発表件数 : 1 件)
- 保坂征宏
- ・ The change of the global water cycle around 2050 simulated by the MRI GCM, MC08, IUGG2003
 - ・ A GCM study of the impact of the land-sea distribution around the Maritime Continent, 2003 International Symposium on the Climate System of Asian Monsoon and its Interac-tion with Society
 - ・ GCM simulation of changes of precipitation characteristics by global warming, Sympo-sium on Water Resource and Its Variability in Asia in the 21st Century
(筆頭者以外の発表件数 : 7 件)
- 星野俊介
- ・ QuikSCAT 海上風の精度検証 (その 2)、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・ マイクロ波センサーのデータを用いた台風の強度推定法についての研究、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - ・ Method to estimate tropical cyclone intensity using TRMM PR/TMI data, 20th Confer-ence on Weather Analysis and Forecasting/16th Conference on Numerical Weather Prediction

- 益子 渉
- ・MRI/NPD-NHM を用いた 2way 多重移動格子モデルの開発（第二報）、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・Development of a two-way multiply-nested movable mesh typhoon model, IUGG2003
 - ・2 way 多重移動格子モデルを用いた台風の予報実験、日本気象学会 2003 年度秋季大会
- 増田一彦
- ・回折格子型赤外サウンダ（AIRS）のチャンネル選択：晴天海域、日本気象学会 2003 年度春季大会
- 松枝秀和
- ・Impact of Asian emissions on the western North Pacific regions observed at JMA monitoring stations. Goldschmidt 2003
(筆頭者以外の発表件数：3 件)
- 真野裕三
- ・凹凸のある粒子の電磁波散乱の計算について、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・鉍物エアロゾル粒子の表面の凹凸と散乱特性、日本気象学会 2003 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数：2 件)
- 馬淵和雄
- ・地域気候モデル（JSM-BAIM）を用いた数値実験（Ⅱ）—1997 年及び 1998 年の東アジアの気候と植生活動—、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・地域気候モデル（JSM-BAIM）を用いた数値実験（Ⅲ）—降水再現性に関する検証—、日本気象学会 2003 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数：1 件)
- 三上正男
- ・Saltation processes of mineral dust observed in the Taklimakan Desert China by use of newly-developed dust particle counter, IUGG2003
 - ・Direct Measurement of saltation process at the Taklimakan Desert China during ADEC IOP1 and IOP2, 3rd ADEC Workshop
 - ・日中共同風送ダストプロジェクト第一期の成果（速報）、地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会
 - ・砂礫沙漠上の風送ダスト舞い上がり臨海風速、日本気象学会 2003 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数：14 件)
- 村上茂教
- ・温暖化に伴う海洋循環の変化に対する熱及び淡水フラックスの役割、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・Energy-entropy balance of the glacial climate, IUGG2003
 - ・気候変化に対する熱塩循環の長期応答—理論的側面—、第 11 回スーパーコンピューターによる地球環境発表会
 - ・温暖化に対する熱塩循環の長期応答と大気水蒸気輸送の役割：理論的考察、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - ・気候変化に対する熱塩循環の長期応答と大気淡水輸送の役割、第 26 回極域気水圏シンポジウム
 - ・MRI-CGCM による CMIP 淡水フラックス実験—熱塩循環の長期応答と大気水蒸気輸送の役割—、地球温暖化予測研究ワークショップ
(筆頭者以外の発表件数：1 件)
- 村上正隆
- ・航空機による寒気吹き出し前面に形成した帯状降雪雲の内部構造観測、科学技術振興事業団 2003 年夏の研究集会
 - ・航空機による梅雨前線に伴う降水雲の内部構造観測（その 2）、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・山岳性降雪雲の水収支、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・航空機による寒気吹き出し前面に形成した帯状降雪雲の内部構造、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - ・Present state of Japanese research on orographic snow cloud modification for water resources augmentation. 8th WMO Scientific Conf. on Weather Modification

6. 成果発表

- Development of convectively mixed layer and cloud formation in it observed by an instrumented aircraft, IUGG2003
 - The current situation of weather modification techniques in Japan. The international workshop for weather modification
 - 諸外国における気象技術を用いた水資源確保の取り組みについて、国土交通省関東地方整備局利根川ダム統合管理事務所講演会
 - 戦略航空機観測、第22回メソ気象研究会
 - 特別講演：非静力学モデルにおける雲物理過程、第5回非静力学モデルに関するワークショップ
 - 山岳性降雪雲の人工調節の可能性、名古屋大学地球水循環研究センター「エアロゾル—雲—放射相互作用」に関する研究集会
(筆頭者以外の発表件数：10件)
- 村田昭彦
- 雲解像モデルによる積雲のエントレインメントの検証、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - The effect of entrainment in a cumulus parameterization on the size of a simulated tropical cyclone, IUGG2003
 - 積雲パラメタリゼーションで再現された大規模場の雲解像モデルによる検証、日本気象学会 2003 年秋季大会
 - 雲解像モデルによる積雲のエントレインメントの検証とパラメタリゼーションへの応用、第5回非静力学モデルに関するワークショップ
(筆頭者以外の発表件数：2件)
- 室井ちあし
- 地球シミュレータ上での高解像度非静力学大気モデルシミュレーション、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - 全球高解像度モデルに適した格子系の検討—立方体モデルの試作—、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - High resolution regional atmospheric simulation of non-hydrostatic model on the Earth Simulator, IUGG2003
 - Super high resolution regional climate prediction using a cloud resolving nonhydrostatic model, The 1st 「KYOSEI」 Workshop and The 6th International Workshop on Next Generation Climate Models for Advanced High Performance Computing Facilities
(筆頭者以外の発表件数：7件)
- 毛利英明
- 境界層乱流の1点速度分布の実験的研究、2003 年流体力学会
 - 非一様面上の境界層内への乱流拡散に関する風洞実験、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - Vortex tubes in velocity fields of laboratory turbulence at microscale Reynolds numbers 400-1300、京都大学数理解析研究所研究会「乱流の解剖—構造とはたらきの解明」
(筆頭者以外の発表件数：1件)
- 森 一正
- 梅雨前線に伴う MCS の航空機観測—X-BAIU02：2002 年 6 月 28 日の事例（序報）—、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - 梅雨前線に伴う MCS の航空機観測—X-BAIU02：2002 年 6 月 28 日の事例（雲物理構造）—、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - Mesoscale analysis of formation process of typhoon over the western north Pacific, IUGG 2003
(筆頭者以外の発表件数：2件)
- 安田珠幾
- 日本沿岸水位の長期変動の要因、2003 年度日本海洋学会秋季大会
(筆頭者以外の発表件数：9件)
- 山崎明宏
- ADEC-IOP2, APEX-E3 でのスカイラジオメーター観測、日本気象学会 2003 年度秋季大会
(筆頭者以外の発表件数：7件)

- 山崎 明
- ・地殻内圧力源に伴うピエゾ磁気効果への地形の影響について、日本火山学会 2003 年秋季大会
 - ・火山地形がピエゾ磁気効果に及ぼす影響について、平成 15 年度京都大学防災研究所研究集会—火山流体の分布とその挙動—
 - ・地殻内圧力源に伴うピエゾ磁気効果への地形の影響について、地球惑星科学関連 2003 年合同大会
 - ・Analysis of convective Activity over the South Asia using Geostitutional satellites, SEReS Intrenational Symposium on Remote Sensing
 - ・Magnetotelluric sounding in the Napier Complex, East Antarctica, IUGG2003
 - ・東南極ナピア岩体の比抵抗構造 (II)、第 23 回南極地学シンポジウム
(筆頭者以外の発表件数 : 3 件)
- 山崎信雄
- ・Long term trend of daily and hourly precipitation extremes in Japan, Symposium on Water Resource and Its Variability in Asia in the 21st century
 - ・東インド洋と西太平洋の対流活動の関係、日本気象学会 2003 年春季大会
 - ・東京における時間降水量の極値の長期傾向、2003 年秋季大会
(筆頭者以外の発表件数 : 4 件)
- 山本 哲
- ・Lagrangian Simulation of Suspended Dust Particles in the Atmosphere Using a Regional Dust Model, 3rd ADEC Workshop
 - ・ミリ波レーダー・シーロメータ・視程計等による釧路の霧の同時観測、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・1977 年有珠山噴火および 1707 年富士山噴火の降下火砕物の数値シミュレーション、地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会
 - ・Numerical Simulations of Tephra Fall Deposition from Mt. Usu 1977 Eruption and Mt. Fuji 1707 Eruption, IUGG2003
 - ・Fog Observation Using Millimeter-Wave RADAR and other Instruments, IUGG2003
 - ・ミリ波レーダーとシーロメータによる霧の微物理量のリモートセンシング、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - ・高解像度数値気象モデルに基づく 1977 年有珠山噴火降灰シミュレーション (2) 水平解像度 1 km の数値気象モデルによる計算、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - ・Lagrangian Simulation of Suspended Dust Particles in the Atmosphere Using a Regional Dust Model, Department of Physics and Materials Science, City University of Hong Kong Seminar
 - ・1977 年有珠山噴火および 1707 年富士山噴火の降下火砕物の数値シミュレーション、第 8 回つくば火山学セミナー
(筆頭者以外の発表件数 : 3 件)
- 山本剛靖
- ・GEONET 座標データに見られる年周パターンの変化 (2)、地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会
(筆頭者以外の発表件数 : 2 件)
- 山本哲也
- ・Geomagnetic change related to volcanic activity in Adatarara, IUGG2003
(筆頭者以外の発表件数 : 4 件)
- 行本誠史
- ・地球温暖化に伴う北半球大気循環場と北太平洋海面推移の変化、日本気象学会 2004 年秋季大会
 - ・Internal variability and external forcing response of the Arctic Oscillation as simulated in a historical climate simulation, 4th International Workshop on Global Change : Connection to the Arctic 2003 (GCCA4)
- 吉川澄夫
- ・歪計による東海スローイベント検出の試み、地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会
 - ・Variation of strain promoted by the slow slip event in the Tokai region revealed by the converted strain from GPS data, IUGG2003

6. 成果発表

- 吉崎正憲
- ・ 冬季日本海メソ対流系観測—2003 (WMO-03) の概況報告、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・ WMO-01 (冬季日本海メソ対流系観測—2001) 期間の日本海の熱・水蒸気収支 (2)、日本気象学会 2003 年度春季大会
 - ・ Reviews of field observations on mesoscale convective systems over East China Sea and Kyushu in the Baiu season, and over the Japan Sea in winter, IUGG2003
(筆頭者以外の発表件数 : 13 件)
- 吉田康宏
- ・ Stress drop of earthquakes in and around Tokai region, IUGG2003
(筆頭者以外の発表件数 : 7 件)
- 吉村裕正
- ・ 鉛直方向に保存性のあるセミラグランジアン法の開発、日本気象学会 2003 年春季大会
 - ・ 2 タイムレベルセミラグランジュ法の開発、日本気象学会 2003 年春季大会
 - ・ Development of a super high resolution global model. (2) simulations in climate mode., The First International “Kyosei” Workshop
(筆頭者以外の発表件数 : 5 件)
- 和田章義
- ・ 台風海洋混合層モデルの改善と台風強度予報への影響、日本気象学会 2003 年春季大会
 - ・ 台風海洋混合層モデルにおける物理過程の変更と海洋への影響、日本気象学会 2003 年度秋季大会
 - ・ Development of typhoon-ocean coupled model at Meteorological Research Institute in Japan Meteorological Agency, IUGG2003